

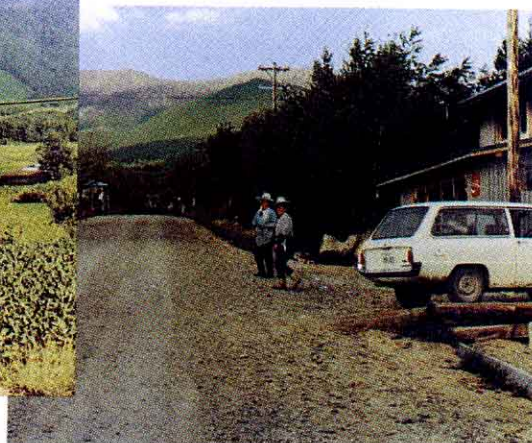
○高杖原への移住

- 1941年 (太平洋戦争始まる) 食料の入手むづかしくなる。
- 1944年 木地職をやめる (炭を焼くように役場より命令)
- 1945年 (終戦) 木地製品売却中絶, 衣食住どれにも苦勞する。
地区民一同, が死する状たい。
戸数23戸
- 1948年 一同総決起大会を開く, 木地職では生活の安定が期たいで
きないと考え, 農業にむかうことを決める。開たく農業協
同組合の結成を考え, 開たく開こんを志す。
県知事にきよ可しんせいをせい願する。
- 1950年 開たくきよ可が出る (土地は, 国有林→県へ)
開たく開こん農業共同組合結成, 高杖に集だん入殖。
(初代組合長・小ぐら信ご氏)
- 1951年 住たく建ちく1戸
- 1952年 住たく建ちく14戸
- 1953年 住たく建ちく12戸 水路開たく道路完成
- 1954年 住たく建ちく2戸 電気が引かれる。引っこし完りよう。
(計29戸)

(南山木地師「戸板集落に生きてきた人たち」より)
(安藤紫香著)



▲開たく地 高杖地区



▲スキー場ができる前の高杖地区